

高校教育のさらなる充実（再編統合に関連する8校を最重点に支援）

総額19億5,539万円

学習活動のさらなる充実

魅力と活力ある学校づくり推進事業（1,300万円）★

・各校の特色ある教育活動を充実

対象校	校数	支援額	支援期間
再編統合する学校 ※1	4	60万円	4年間 (H30～)
再編統合先の学校 ※2	4	60万円	2年間 (H30～)
上記以外	24	30万円	1年間

※1 学校行事の魅力化
などを特別に支援
※2 新高校での取組み
の検討・試行を特別
に支援

新たな学び創造事業（248万円）★

・次期学習指導要領や大学入学共通テスト等の高校教育の変革
に的確に対応できる授業改善

・拠点校18校を中心に実施し、全校に拡大

再編8校全てを拠点校に指定

拡 ICT教育推進事業（6,275万円）★

・ICT機器を活用した効果的な授業を推進

・校内に無線LAN環境を整備

実施校:27校→42校

タブレット:1,024台→1,522台



学校施設・設備のさらなる充実

新 県立高校普通教室空調整備事業（3億5,933万円）

・2ヶ年で県立高校普通教室に空調を設置

・PTA設置の空調は買取り等により公平性を確保

87教室

新 再編統合による新高校の整備（1億1,260万円）

・新高校が魅力あるものとなるよう施設・設備を整備

新 県立学校施設の長寿命化改修（1,900万円）

・「学校施設の長寿命化計画」に基づく改修を計画的に実施

拡 県立学校のトイレ洋式化〔一部2月補正〕（6億9,836万円）

・生徒用トイレを100%洋式化

拡 運動場等整備事業（1億7,498万円）

・グラウンド:2校(上市高校、石動高校)

・テニスコート:2校(富山いずみ高校、小杉高校)



拡 武道場の改築（4億9,250万円）

・改築:2校(南砺福野高校、入善高校)

・設計:2校(八尾高校、富山東高校(体育館とともに改築))

再編統合先の学校を優先して改築

生徒指導・支援体制のさらなる充実

高校スクールカウンセラーの配置（1,771万円）

・心の専門家として臨床心理士などを配置

・再編8校を含む拠点校16校に配置

・要請に応じて拠点校以外の学校を支援

高校スクールソーシャルワーカーの派遣（268万円）

・福祉に関して専門的な知識、技術を有する社会福祉士
等の専門家を派遣

・再編8校及び拠点校4校に派遣

・要請に応じて、再編校以外の学校に派遣



とやま型スーパーグローバルハイスクール事業（823万円）★

・海外有名大学等での現地研修や事前事後研修を支援

とやまの高校生留学促進事業（515万円）

スーパーサイエンスハイスクール事業（100万円）★

・探究力や科学的思考力を身に付けた科学技術系人材を育成

新 ICTを活用した英語教育推進事業（500万円）

・英会話アプリを活用し、生徒の英語力を向上

とやまの中・高校生ライフプラン教育の充実（300万円）★

・生徒の発達段階に応じたライフプラン教育を実施

新 社会へ羽ばたく「17歳の挑戦」事業（248万円）★

・新たに実施するアカデミック・インターンシップを含め、企業などで
就業体験

新 小中高校キャリア教育の充実 ★

・キャリア・パスポートを作成し、自分の取組みを振り返り

拡 中央農業高校寄宿舎の改築（8億6,000万円）

拡 学校修繕（全日制、定時制、特別支援）（7億9,800万円）

拡 県立学校防犯備品等整備事業（230万円）

・不審者の侵入等に備え、県立学校に「さすまた」等の防犯備品を整備

新 学校安全対策緊急点検事業（540万円）〔警察〕

・2ヶ年で全学校の防犯マニュアルの緊急点検を実施

SNSを活用したいじめ相談モデル事業（950万円）

・相談体制構築に向けたモデル事業を実施し、効果や課題を検証(高校4校)

高校生郷土史・日本史学習教材活用事業（354万円）★

・補助教材等を使用し、郷土史・日本史学習を実施

教師力向上支援事業（400万円）★

・国内外への教育事情視察等教員の自発的な研修を支援

拡 部活動指導員配置促進事業（704万円）

・教員の負担軽減と競技力の向上を図るため、部活動指導員を
県立高校に配置(10名→20名)

新 高校版スクール・サポート・スタッフ配置事業（3,874万円）

・教員の負担軽減と障害者雇用促進のため、新たに高校版
スクール・サポート・スタッフを県立学校に配置(20名)

修学支援

高等学校等就学支援金等（29億4,022万円）〔教委・総政〕

・一定の収入額(年収910万円程度)未満の世帯に「就学支援金」
等を支給

拡 高校等奨学のための給付金（2億2,762万円）〔教委・総政〕

・低所得世帯の高校生に給付金を支給(第1子の単価を引き上げ)

奨学資金貸付金事業（1億7,608万円）〔教委・総政〕

とやまの特別支援教育強化充実事業等（1,599万円）★

就学相談体制の充実

・発達障害支援アドバイザーによる就学相談体制の充実

学校への支援の充実

・小中学校巡回指導員、高等学校巡回指導員による
専門的な指導助言

就労支援の充実

・特別支援学校就労コーディネーター、障害者就労サポーターによる
就労支援の充実

教員の専門性の向上

・巡回指導員を講師とした校内研修会を実施
・現職教員の特別支援学校教諭免許状取得に必要な講義を集中開講



高等学校における通級の指導の実施

・通級の指導を実施し、特別な支援を
要する生徒への指導を充実

拡 医療的ケア看護師配置事業（3,657万円）

・特別支援学校において医療的ケアを行う
看護師の配置の拡充(21名→23名)

学習活動

英語教科化の先行実施への対応 ★

小学校英語教育モデル事業(1億150万円) ★

・モデル校29校に英語専科教員を配置

〔新〕英語専科教員の配置(1億150万円) ★

・全市町村に英語専科教員を配置

英語学習パートナーの派遣 (120万円) ★

・県内大学生を小学校の外国語活動の授業補助者として派遣(50校)

〔新〕ICTを活用した英語教育推進事業(500万円)

・英会話アプリを活用し、児童生徒の英語力を向上

小学校専科教員の配置 (5,441万円) ★(3～6年生対象)

・理科等の学習内容の高度化に対応するため、専科教員(71校)を配置(理科35校、音楽・図工・体育36校)

県独自の少人数教育の推進 ★

少人数教育推進事業(小学校) (6,972万円) ★

・小3・4年生での35人学級選択制など少人数指導と少人数学級を組み合わせた効果的な少人数教育を実施

少人数教育推進事業(中学校) (2,717万円) ★

・中1・35人学級選択制を実施し、該当校に少人数指導の正規教員や非常勤講師を配置

学びサポート講師の配置(小学校) (2,752万円) ★

・小中規模校に非常勤講師(15校)を配置

学びサポート講師の配置(中学校) (917万円) ★

・小中規模校に非常勤講師(5校)を配置

中1学級支援事業 (551万円) ★

・中1ギャップへの対応のため、中1学級支援講師(18校)を配置

〔拡〕とやま型学力向上総合支援事業 (2,278万円) ★

「学力向上推進会議」の設置

「授業の達人」活用事業

・授業実践に優れた現職教員を授業の達人として活用

アクティブ・ラーニング推進リーダー育成事業

学習習慣・生活習慣育成事業

学力向上市町村教育委員会プラン研究委託事業

〔新〕小中高校キャリア教育の充実

・キャリア・パスポートを作成し、自分の取り組みを振り返り

〔新〕小中学校におけるICT教育総合支援事業 (100万円) ★

・小中学校のICTを活用した授業改善を支援(8市町村)

とやま科学オリンピックの開催 (812万円) ★

・小・中・高校生を対象に、人文・社会科学分野も含め、実験・観察も取り入れた富山ならではの大会を開催

安全・安心

子どもの登下校安全対策推進事業 (218万円)

・児童生徒の安全・安心を確保するため地域における子どもの安全対策を推進

学校安全教育推進事業 (51万円)

・危機管理マニュアルの見直し等のため

学校安全アドバイザーを派遣

〔新〕学校安全対策緊急点検事業 (540万円)[警察]

・2ヶ年で全学校の防犯マニュアルの緊急点検を実施



幼稚園等保育料軽減事業 (1,172万円) [教委・総政]

・ひとり親世帯や低所得者層に対する保育料等の負担を軽減

小学1年生安心子育て支援事業 (64万円) ★

・小学校入学前後の子どもをもつ保護者を支援するためのリーフレットを配布

〔新〕幼児教育センターの設置(200万円) ★

・幼児教育の研修内容を充実させるため、「幼児教育センター」を設置し、幼稚園等にアドバイザーを派遣



私立小中学校修学支援実証事業 (190万円)[総政]

・低所得世帯の生徒に授業料減免を行いつつ、私立小中学校を選択している理由等について調査を実施

教員の働き方改革(多忙化解消対策)

〔拡〕スクール・サポート・スタッフ配置事業(5,143万円)

・教員が子どもと向き合う時間を確保するため、スクール・サポート・スタッフを各市町村の小中学校に配置(30名→36名)

〔拡〕部活動指導員配置促進事業(1,613万円)

・教員の負担軽減と競技力の向上を図るため、部活動指導員の中学校配置を支援(37名→72名)

〔拡〕とやま親学び推進事業 (350万円) ★

・「親学び講座」の対象を0～2歳児の保護者に拡大

中学校放課後学習支援推進事業 (608万円)

・中学生を対象に放課後等を活用して地域住民等の協力による学習を支援



ふるさととやまの自然・科学探究推進事業 (333万円) ★

・富山の自然を通じて科学的な考え方を養うための副読本を小学生に配布するとともに、観察・実験等の体験学習を積極的に行った児童へ認定証を発行

〔拡〕とやま地産地消推進事業 (953万円) [農林]

・県産食材の学校給食への広域的活用拡大に向けたコーディネート機能の充実など

生徒指導・支援体制

〔拡〕小・中スクールカウンセラーの配置(1億5,408万円)

〔拡〕小学校スクールカウンセラーの配置(全公立小学校182校)

・配置時間を拡大

中学校スクールカウンセラーの配置(全公立中学校79校)

いじめ対策カウンセラーの派遣

・いじめの事案発生時に、児童生徒の心のケア、いじめの背景や原因の究明



小・中スクールソーシャルワーカーの派遣 (1,660万円)

・全中学校区に派遣(富山市を除く53中学校区)

いじめ対策ソーシャルワーカー派遣事業 (388万円)

・いじめの事案発生時に、家庭環境等の改善を図るため派遣

SNSを活用したいじめ相談モデル事業 (950万円)

・相談体制構築に向けたモデル事業を実施し、効果や課題を検証(中学校4校(高校4校でも実施))

いのちの教育総合支援事業 (137万円)

24時間いじめ相談電話の設置 (795万円)

不登校児童生徒対策事業 (555万円)

心のサポーター派遣事業 (39万円)



〔拡〕とやまの子どもを守り育てるネット利用推進事業 (137万円) ★

・新たに小学校での「学校ネットルールづくり」の取り組みを支援(4市町村)

・ネット監視員が不適切な書き込み等を検索し、関係学校に報告



いじめ防止対策推進事業 (135万円)

・「いじめ問題対策連絡会議」と「富山県いじめ防止対策推進委員会」により、いじめの未然防止、早期発見・早期対応を推進

社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業 (1,613万円) ★

・中学2年生が職場体験、福祉・ボランティア活動等に参加



〔新〕キャリア教育等連携推進会議の設置 (35万円)

・関係機関の連携により、各事業の成果や課題を検証